



2019年2月5日

各位

会社名 ヤマハ株式会社
代表者名 代表執行役社長 中田 卓也
(コード番号 7951 東証第1部)
問合せ先 コーポレート・コミュニケーション部長 瀧澤 勉
(TEL 03-5488-6601)

2019年3月期 第3四半期(累計) 連結業績の概要と通期連結業績予想について

□ 第3四半期(累計) 業績の概要 — 対前年同期増収、二桁増益 —

2019年3月期第3四半期累計の売上高は、楽器事業が引き続き好調に推移したことから、前年同期に対し52億円(1.6%)増加の3,339億円となりました。

損益については、営業利益は前年同期に対し66億円(16.0%)増加の481億円、経常利益は73億円(17.4%)増加の489億円とそれぞれ二桁の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期にヤマハ発動機株式会社株式の一部売却による投資有価証券売却益(特別利益)258億円を計上したことから、128億円(25.9%)減少の367億円となりました。

<事業セグメント別の売上高・営業損益の状況>

● 楽器事業

売上高 2,150億円(前年同期比 3.0%増) 営業利益 358億円(前年同期比 27.2%増)

アコースティックピアノは中国での二桁成長が継続したほか、北米等での販売が好調に推移しました。デジタルピアノと管楽器は海外の全地域で売上げを伸ばし、ギターは中国の大幅な伸長をはじめ、北米およびその他の新興国でも販売を増やしました。

セグメント全体の売上高は、前年同期に対し62億円(3.0%)増加の2,150億円となりました。営業利益は、76億円(27.2%)増加の358億円となりました。

● 音響機器事業

売上高 910億円(前年同期比 1.4%減) 営業利益 92億円(前年同期比 8.1%減)

業務用音響機器の販売は好調でしたが、国内の音響設備工事は売上げが第4四半期に集中することから減収となりました。また、オーディオ機器は北米等で販売が減少しました。

セグメント全体の売上高は、前年同期に対し13億円(1.4%)減少の910億円となりました。営業利益は、8億円(8.1%)減少の92億円となりました。

● 部品・装置、その他の事業

売上高 279億円(前年同期比 0.9%増) 営業利益 31億円(前年同期比 6.3%減)

部品・装置事業は販売が減速しましたが、上期にFA機器と自動車用内装部品が売上げを伸ばしたこともあり、累計で前年同期を上回りました。

セグメント全体の売上高は、前年同期に対し2億円(0.9%)増加の279億円となりました。営業利益は、2億円(6.3%)減少の31億円となりました。

□ 2019年3月期業績予想について — 売上高を下方修正するも営業利益は据え置き
営業利益と経常利益は過去最高益を予想 —

2019年3月期連結業績予想は、5月1日公表時には、売上高 4,420億円（前期比 2.1%増）、営業利益 550億円（前期比 12.6%増）、経常利益 550億円（前期比 11.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益 400億円（前期比 26.4%減）としておりました。

今回の業績予想では、部品・装置事業の減収見通しにより、売上高 4,400億円（前期比 1.6%増）に下方修正しますが、部品・装置事業の減益分を楽器事業でカバーし、営業利益は前回予想を据え置きます。

なお、営業利益 550億円は2018年3月期の488億円を更新、経常利益 550億円は2004年3月期の510億円を更新し、いずれも過去最高益となります。

本予想における第4四半期の想定為替レートは、対USドル110円、対ユーロ125円です。

注) 文章中の売上高、損益の数値は、原則として億円未満四捨五入で記載しております。

以上

2019年3月期 第3四半期業績資料

ヤマハ株式会社

2019年2月5日

	前期第3四半期実績 (‘17/10-12月)	第3四半期実績 (‘18/10-12月)	前期第3四半期累計実績 (‘17/4-12月)	第3四半期累計実績 (‘18/4-12月)	前期実績	当期予想	前回当期予想 (‘18/11/1発表)
	18年3月期	19年3月期	18年3月期	19年3月期	18年3月期	19年3月期	19年3月期
売上高	1,189億円	1,193億円	3,287億円	3,339億円	4,330億円	4,400億円	4,420億円
国内売上高	321億円 (27.0%)	305億円 (25.6%)	988億円 (30.1%)	945億円 (28.3%)	1,337億円 (30.9%)	1,300億円 (29.5%)	1,352億円 (30.6%)
海外売上高	868億円 (73.0%)	888億円 (74.4%)	2,299億円 (69.9%)	2,394億円 (71.7%)	2,992億円 (69.1%)	3,100億円 (70.5%)	3,068億円 (69.4%)
営業利益	175億円 (14.8%)	196億円 (16.4%)	415億円 (12.6%)	481億円 (14.4%)	488億円 (11.3%)	550億円 (12.5%)	550億円 (12.4%)
経常利益	169億円 (14.2%)	191億円 (16.0%)	416億円 (12.7%)	489億円 (14.6%)	492億円 (11.4%)	550億円 (12.5%)	550億円 (12.4%)
当期利益 ^(*)	299億円 (25.2%)	148億円 (12.4%)	496億円 (15.1%)	367億円 (11.0%)	544億円 (12.6%)	400億円 (9.1%)	400億円 (9.0%)
為替レート(決済レート) ^(**)	113円/US\$ 130円/EUR	113円/US\$ 132円/EUR	112円/US\$ 124円/EUR	111円/US\$ 132円/EUR	111円/US\$ 126円/EUR	111円/US\$ ^(**) 131円/EUR	107円/US\$ 129円/EUR
ROE ^(**)	28.9%	15.0%	16.8%	12.7%	14.5%	10.3%	10.0%
ROA ^(**)	20.1%	10.9%	11.8%	9.1%	10.2%	7.4%	7.1%
1株当たり利益	159.9円	81.6円	264.6円	202.0円	291.8円	220.0円	220.0円
設備投資額 (減価償却費)	41億円 (28億円)	25億円 (27億円)	152億円 (81億円)	105億円 (82億円)	246億円 (108億円)	177億円 (110億円)	254億円 (116億円)
研究開発費	62億円	64億円	183億円	186億円	248億円	257億円	257億円
(キャッシュフロー)							
営業活動	134億円	31億円	230億円	75億円	475億円	280億円	350億円
投資活動	241億円	▲47億円	124億円	▲181億円	48億円	▲250億円	▲250億円
フリーキャッシュフロー	375億円	▲16億円	354億円	▲106億円	523億円	30億円	100億円
期末在庫高	-	-	996億円	1,026億円	941億円	993億円	910億円
(要員数)							
国内	-	-	5,903人	5,793人	5,845人	5,700人	5,900人
海外	-	-	14,423人	14,599人	14,383人	14,900人	15,400人
正社員計 ^(**) (連結範囲変動による増減)	- -	- -	20,326人 -	20,392人 -	20,228人 -	20,600人 -	21,300人 -
正社員外要員(期中平均)	-	-	7,700人	7,960人	7,558人	7,500人	7,700人
(事業別売上高)							
楽器	746億円 (62.7%)	760億円 (63.7%)	2,088億円 (63.5%)	2,150億円 (64.4%)	2,745億円 (63.4%)	2,825億円 (64.2%)	2,795億円 (63.2%)
音響機器	347億円 (29.2%)	345億円 (28.9%)	923億円 (28.1%)	910億円 (27.2%)	1,218億円 (28.1%)	1,235億円 (28.1%)	1,235億円 (28.0%)
その他	96億円 (8.1%)	88億円 (7.4%)	277億円 (8.4%)	279億円 (8.4%)	367億円 (8.5%)	340億円 (7.7%)	390億円 (8.8%)
(事業別営業利益)							
楽器	115億円	142億円	281億円	358億円	346億円	415億円	405億円
音響機器	49億円	46億円	101億円	92億円	107億円	110億円	110億円
その他	12億円	8億円	33億円	31億円	35億円	25億円	35億円

* 1 当期利益=親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

* 2, 6 為替レートは、利益に影響を及ぼすヤマハの輸出入決済レートを記載しています。4Q為替レート US\$=110円、EUR=125円

* 3, 4 ROE・ROAは年換算値

* 5 要員数=期末社員在籍数

連結業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の連結業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。